

写

18町監第101号の2
2019年1月23日

町田市議会議長 若林章喜様
町田市長 石阪丈一様

| | |
|---------|-------|
| 町田市監査委員 | 高野克浩 |
| 同 | 古川健太郎 |
| 同 | 山下てつや |
| 同 | 森本せいや |

2018年第2回定期監査（工事）の結果について

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果の報告書を提出します。

なお、この監査結果に基づき、又はこの監査の結果を参考として措置を講じたときは、同条第12項の規定により通知願います。

2018年第2回定期監査（工事）結果報告書

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による監査
なお、本監査は都市監査基準に準拠して実施した。

2 監査の対象及び選定理由

(1) 対象工事及び対象部課

ア 対象工事

境川クリーンセンター改修工事等

- ・ 境川クリーンセンター改修工事
- ・ 境川クリーンセンター汚泥再生施設建設工事基本設計業務委託
- ・ 境川クリーンセンター空洞調査業務委託
- ・ 境川クリーンセンター改修工事監理業務委託
- ・ 境川クリーンセンター改修工事家屋調査業務委託（事前）

イ 対象部課

環境資源部資源循環課、財務部営繕課、財務部契約課、総務部工事品質課

(2) 選定理由

市全体におけるし尿処理事業の規模適正化と循環型社会の実現に寄与する工事であり、性能発注（注）方式による工事内容と進捗状況を勘案して監査対象とした。

（注） 発注者は機能、性能及び品質等の要求水準を仕様で定め、受注者は要求水準を満たす設計及び施工等の内容を発注者へ主体的に提案し、実施する手法

3 監査の着眼点

監査の実施に当たり、重要リスク及び監査の着眼点を次表のとおり設定した。

○工事技術

| 重要リスク | 監査の着眼点 |
|---------------------------------|--------------------------|
| (1) 工事の品質が確保されないリスク | ア 事業目的、法令等に適合した設計となっているか |
| | イ 設計図書どおり施工されているか |
| | ウ 適切な監理、監督が行われているか |
| | エ 安全管理体制・方法は確立されているか |
| (2) 経済性、効率性及び有効性の高い資産が形成されないリスク | ア コスト削減意識を反映した設計となっているか |
| | イ 工法、資材の選択が適切に行われているか |
| | ウ ライフサイクルコストは検討されているか |

| | |
|--|-------------------------|
| | エ 利用者の視点に立った資産が形成されているか |
|--|-------------------------|

○支出事務

| 重要リスク | 監査の着眼点 |
|----------------------|------------------------------|
| (1) 不正・不要な支出が行われるリスク | ア 支出負担行為は法令等に違反していないか |
| | イ 工事請負費の前金払、部分払は適時適正に行われているか |

○契約事務

| 重要リスク | 監査の着眼点 |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 不適正な契約を行うことにより市に損害を与えるリスク | ア 明らかに市が不利となる契約となっていないか |
| | イ 予定価格は合理的な基準に基づき適正に設定されているか |
| | ウ 契約手続きは適正か |
| (2) 契約における透明性、競争性が確保されないリスク | ア 業者選定は適正に行われているか |
| | イ 随意契約による場合、その理由は適正かつ合理的か、また、手続きは適正か |
| (3) 契約が適正に履行されないリスク | ア 契約内容の履行確認は適時適正に行われているか |

4 監査の主な実施内容

対象部課等から関係書類の提出と説明を求め、工事技術の調査及び現場実査を行った。

なお、工事に係る技術的事項の調査については、公益社団法人大阪技術振興協会に業務を委託して実施した。

5 監査の期間及び実施場所

2018年8月20日から12月27日まで町田市庁舎、境川クリーンセンターで監査を実施した。

6 現場実査及び工事技術調査

現場実査及び工事技術調査は、2018年10月5日に実施した。

工事概要

ア 施工場所 町田市木曾東二丁目1番外

イ 工事内容

| | | |
|-------|-----------------------|---|
| 敷地面積 | 2,433.42㎡ | |
| 建築面積 | 319.19㎡ | |
| 延べ床面積 | 760.09㎡ | |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート造 地下1階・地上2階建て | |
| 建物概要 | 地下1階 | ポンプ室、フロア室、配管ピット、水槽 |
| | 1階 | 玄関、ホール、風除室、会議室、受入・搬出室、水槽上部室、前室、倉庫、共用トイレ、みんなのトイレ |
| | 2階 | 中央監視室兼事務室、電気室、試験室、脱水機室、休憩室、ロッカー室（男・女）、脱衣室、湯沸室、前室、共用トイレ、廊下 |
| | 共通 | 階段室（処理部・管理部） |

ウ 設計・監理、関連調査契約内容（2018年9月30日現在）

| | 契約件名 | 契約方法 | 契約期間 | | 契約金額(円) | | 受託者 |
|---|------------------------------|--------|------|-------------|---------|------------|--------------------|
| | | | 契約日 | 履行期限 | 当初 | 変更後 | |
| 1 | 境川クリーンセンター汚泥再生施設建設工事基本設計業務委託 | 一般競争入札 | 契約日 | 2015年8月11日 | 当初 | 17,604,000 | 日本水工設計株式会社 東京支社 |
| | | | 履行期限 | 2016年3月18日 | | | |
| | | | 変更契約 | 2016年1月15日 | 変更後 | 18,398,880 | |
| 2 | 境川クリーンセンター改修工事監理業務委託 | 随意契約 | 契約日 | 2017年3月31日 | 当初 | 25,704,000 | 日本水工設計株式会社 東京支社 |
| | | | 履行期限 | 2019年3月29日 | | | |
| 3 | 境川クリーンセンター空洞調査業務委託 | 随意契約 | 契約日 | 2015年12月10日 | 当初 | 280,800 | 応用地質株式会社 東京支社 |
| | | | 履行期限 | 2016年1月29日 | | | |
| 4 | 境川クリーンセンター改修工事家屋調査業務委託（事前） | 指名競争入札 | 契約日 | 2017年8月3日 | 当初 | 464,400 | 東洋技建株式会社 |
| | | | 履行期限 | 2017年11月24日 | | | |
| | | | 変更契約 | 2017年9月11日 | 変更後 | 555,120 | |

エ 工事契約内容（2018年9月30日現在）

| | 契約件名 | 契約方法 | 契約期間 | | 契約金額(円) | | 受注者 |
|---|----------------|--------|------|-------------|---------|-------------|---|
| | | | 契約日 | 履行期限 | 当初 | | |
| 1 | 境川クリーンセンター改修工事 | 一般競争入札 | 契約日 | 2016年12月22日 | 当初 | 819,720,000 | 三井造船環境エンジニアリング株式会社 (現：三井E&S環境エンジニアリング株式会社) |
| | | | 履行期限 | 2019年3月15日 | | | |

オ 工事の進捗状況（2018年9月30日現在）

(単位 %)

| | 計画出来高 | 実施出来高 |
|------|-------|-------|
| 改修工事 | 43.0 | 43.0 |



監査委員と技術士による現場実査の様子 外観イメージ【環境資源部資源循環課 提供資料】

7 監査の結果

本工事は、おおむね適正に執行されている。今後も、設計内容にふさわしい施工品質の実現に向け、工事監理者及び施工者と緊密に連携を図りながら公共施設の整備に取り組むことを期待する。